

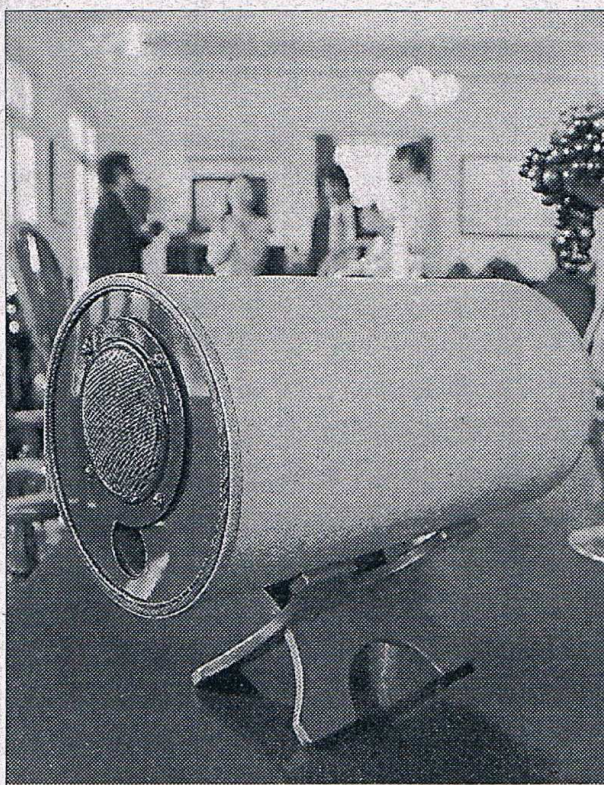
# スピーカー 舞台の主役

## 西宮・来月9日に演奏会

クラシックやジャズなどの演奏を楽しむコンサートが来月9日、西宮市高松町の県立芸術文化センターで開かれる。約400人を収容可能なホールで曲を奏するのは、楽器を持った演奏家ではなく、1台の小さなスピーカーだ。

題して「演奏家のいない演奏 両側から音が出る仕組みで、2台1組の一般のスピーカーとは異なる。

円筒形スピーカーを置いて楽曲を流す。エムズシステム(本社・東京)が開発した「波動スピーカー」。太鼓のような本体の



来月9日の演奏会で使われる「波動スピーカー」＝神戸市中央区

初めて。「太鼓の原理を利用した構造で、立体感のある音質を生むことができます」と社長の三浦光仁さん(56)は話す。

三浦さんは大学卒業後、大手百貨店に入社。約20年間勤務した後、経営コンサルタント会社を設立し、企業に売り込みをかけていた波動スピーカーの開発者に出会った。2003年に共同開発を始め、翌年に商品化した。価格は9万8千円〜25万2千円(税込み)。

「曲が終わった後、誰もいないステージに向かってお客さまが拍手する。そんな面白さからコンサートを開くようになりました」

「演奏家のいない演奏会」は入場無料。7月9日午後2時開演。事前予約が必要。販売代理店のオブリガードの森伊知郎さんにメール (forest1st@gmail.com) か電話 (078・570・5651) で申し込む。

(小川崇)

「太鼓の原理 音質に立体感」メーカー